

科目区分：人文・社会科学科目

| | | | | | | | |
|--|--|-----|-----|----------|-------|----|------------|
| 授業科目名 | 経済と経営（会計学入門） | | | | 学期 | 曜日 | 校時 |
| 英語名 | Economics and Business (Introduction to Financial Accounting) | | | | | | |
| 担当 教員名 | 岡田 裕正 | 単位数 | 2単位 | 必修 選択 | 選択 | 前期 | 火曜日 2校時 |
| 授業のねらい・内容・方法 | | | | | | | |
| <p>営利・非営利を問わず、企業や組織は、その経営状況を定期的に財務諸表として公表する。その財務諸表を作成する技術的基盤として簿記がある。本講義では、営利目的の個人商店を念頭に置き、簿記の最も基本的な一連の手続の概要を説明する。本講義を通じて、皆さんは、簿記の基本的な計算手続を習得することができるが、その過程で会計の基本的な用語のいくつかも知ることができる。</p> | | | | | | | |
| テキスト、教材等 | | | | | | | |
| 適宜プリントを配布する。 | | | | | | | |
| 対象学生 | 成績評価の方法 | | | | 教員研究室 | | |
| 全学部 | 簿記の基礎についての理解度を高めるため、最終試験により評価する(90%)。また、授業への参加状況を考慮する(10%)。 | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | |
| <p>第2～10回目は、もっとも基本的な簿記の手続の流れの説明にあたる。特に第4回目以降は、技術的な話である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 オリエンテーション - 財務諸表と簿記 - 第2回 貸借対照表と資産・負債・資本 第3回 損益計算書と収益・費用 第4回 簿記一巡の手続 第5回 取引と仕訳(その1) 第6回 取引と仕訳(その2) 第7回 取引と仕訳(その3) 第8回 決算手続(その1) 第9回 決算手続(その2) 第10回 決算手続(その3) <p>第11回目以降は、簿記の中で重要と思われる項目を各論として取り出して話をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第11回 現金と預金 第12回 三分法 第13回 減価償却 第14回 予備日 第15回 テスト <p>設例等で計算をしてもらうことがあるので、電卓・算盤を持ってきてほしい。特にテストでは、電卓・算盤を持参すること。</p> <p>オフィスアワー（質問受付時間） 質問等は講義終了後に受け付ける。</p> | | | | | | | |